

2. 薬効に関する資料の概要

事例 1 (資料 3)	
作物名	キュウリ 相模半白節成
栽培条件	栽培場所：ハウス 播種：平成 15 年 4 月中旬 鉢上げ：平成 15 年 4 月 24 日 定植：平成 15 年 5 月 7 日 (株間 40 cm 畦間 1.2 m で定植)
病害虫・雑草名	うどんこ病
使用量	生成直後の電解次亜塩素酸水を 200 l/10 a 散布
使用時期	発病初期
使用回数	1 週間ごとに計 3 回
使用方法	葉面散布
効果	防除価：86.0% 調査日：最終散布の 8 日後 生育段階：果実収穫可能段階
試験場所	大阪府立食とみどりの総合技術センター (大阪府)
備考	薬害なし 電解次亜塩素酸水生成時の性状：pH 2.7 以下 有効塩素濃度 40 mg/kg
事例 2 (資料 3)	
作物名	イチゴ とよのか
栽培条件	栽培場所：ハウス 定植：平成 15 年 4 月 (株間 30 cm 畦間 1.2 m で定植)
病害虫・雑草名	灰色カビ病
使用量	生成直後の電解次亜塩素酸水を 200 l/10 a 散布
使用時期	発病初期
使用回数	栽培期間中 1 週間に 1 回、計 4 回
使用方法	葉面散布
効果	防除価：100% 調査日：栽培期間中の 2 から 5 日に一度 生育段階：果実収穫可能段階
試験場所	大阪府立食とみどりの総合技術センター (大阪府)
備考	薬害なし 電解次亜塩素酸水生成時の性状：pH 2.7 以下 有効塩素濃度 40 mg/kg

事例3 (資料52)	
作物名	キュウリ 品種：南極1号
栽培条件	栽培場所：露地 定植：2001年6月2日、2002年6月4日
病害虫・雑草名	うどんこ病
使用量	1.5-2.5 l/株
使用時期	定植後 (栽培中)
使用回数	週1回散布、週2回散布
使用方法	動力噴霧器による葉面散布
効果	防除価：53.3 (週1回散布)、69.8 (週2回散布) 2001年 調査日：8月29日 防除価：92.9 (週2回散布) 2002年 調査日：9月4日
試験場所	岩手県農業研究センター
備考	電解次亜塩素酸水生成時の性状：pH 2.5-2.7 有効塩素濃度 20-44 mg/kg